



育休コミュニティMIRAISによる 産育休者・復職者とそのパートナー 計223名の実態調査

調査結果報告書

～育休中のパートナーシップに関するアンケート調査～

2020年9月
育休コミュニティMIRAIS

目次（全アンケート項目リスト）

全回答者のアンケート結果	4～25P
うち、MIRAIS4期メンバーのみのアンケート結果	26～27P

1. 調査の概要

- 1-1 調査の目的
- 1-2 調査の方法
- 1-3 回答者の属性

2. パートナーとの現状の関係、要望について

- 2-1 交際時と結婚後で、パートナーとの関係は変わったと思いますか？
- 2-2 夫婦二人の期間と妊娠・出産後で、パートナーとの関係は変わったと思いますか？
- 2-3 育休中と復職後で、パートナーとの関係は変わったと思いますか？
- 2-4 今現在、パートナーとの関係性を、あなたはどのように感じていますか？
- 2-5 [2-4]で、パートナーとの関係性が「とてもよい」「よい」「どちらとも言えない」と答えた人に伺います。それはなぜですか？
- 2-6 [2-4]で、パートナーとの関係性が「とても悪い」「悪い」と答えた人に伺います。それはなぜですか？
- 2-7 パートナーに言いたくても遠慮してしまっている話がありますか？
- 2-8 [2-7]のパートナーに言いたくても遠慮してしまっている話について、「はい」と答えた方に伺います。可能な範囲で内容を教えて下さい。
- 2-9 パートナーとのコミュニケーションはいつ取っていますか？該当するものを全て選んでください
- 2-10 「両方、もしくはどちらかが仕事の日（平日）」にパートナーと2人きりで過ごす時間はどの程度ですか？
- 2-11 「2人とも休みの日（休日）」にパートナーと2人きりで過ごす時間はどの程度ですか？
- 2-12 育児についてパートナーと十分に話し合う時間がありますか？
- 2-13 パートナーとコミュニケーションを取るために、どのように時間を取っていますか？該当するものを全て選んでください
- 2-14 育休期間（復職した方は、育休期間に思ったことをご回答ください）にパートナーとの関わり方（コミュニケーションの取り方や役割分担）を見直したいと思いますか？
- 2-15 育休期間にパートナーと見直しを考えたい項目は何ですか？該当するものを全て選んでください

3. パートナーとのコミュニケーションの工夫について

- 3-1 あなたが嬉しいと思う愛情表現の方法は何ですか？
- 3-2 コミュニケーションの取り方でどんな工夫をしていますか？該当するものを全て選んでください
- 3-3 パートナーとの時間は充実していますか？
- 3-4 パートナーとのコミュニケーションの時間をもっと増やしたいと思いますか？
- 3-5 あなたが理想とするパートナーとのコミュニケーションの取り方について、該当するものを全て選んでください

- 3-6 良好なパートナーシップを維持することは家族の人生の満足度にプラスの影響を与えていると思いますか？

4.男性側の育休や家事協力について

- 4-1 あなたのパートナー(男性の場合は本人)は産育休を取得しましたか？
- 4-2 パートナー（男性の場合は本人）が産育休を取得した方に伺います。取得期間を教えてください
- 4-3 あなたのパートナー(男性の場合は本人)の会社は男性の育休取得は推奨されていますか？
- 4-4 あなたのパートナー(男性の場合は本人)の家事・育児分担に満足していますか？
- 4-5-1あなたが女性の場合、ご回答ください。勤務形態について、パートナーに何を希望しますか？該当するものを選んでください
- 4-5-2あなたが女性の場合、ご回答ください。家事・育児分担について、パートナーに何を希望しますか？
- 4-6-1あなたが男性の場合、ご回答ください。勤務形態について、パートナーに何を希望しますか？該当するものを全て選んでください
- 4-6-2あなたが男性の場合、ご回答ください。家事・育児分担について、パートナーに何を希望しますか？

5.新型コロナウイルスによる生活様式の変化について

- 5-1 コロナ禍において生活が変わったことで、パートナーと話す機会は増えましたか？
- 5-2 コロナで生活が変わり、パートナーと家事・育児分担を見直しましたか？
- 5-3 withコロナを過ごす中で、「家族の幸福度が上がった」と思ったことはありますか？
- 5-4 [5-3]で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した方に伺います。具体的に幸福度が上がったと感じた出来事は何ですか？
- 5-5 withコロナを過ごす中で、パートナーと新たに話し合いをする必要性を感じたことはありましたか？
- 5-6 [5-5]で「はい」と答えた人に伺います。「お互いに納得のいく話し合いを、パートナーともつことができましたか？

6.パートナーシップについて（MIRAIS4期メンバーのみ）

- 6-1 MIRAIS活動の中でパートナーシップ改善につながると思う内容があれば、該当するものを全て選んでください
- 6-2 [6-1]について詳細を教えてください
- 6-3 パートナーシップについて悩んでいることはありますか？
- 6-4 パートナーシップについてうまくいっていると感じる方は、アドバイスなどあればぜひお聞かせください

※引用・転載にあたってのお願い

本調査結果は、下記条件に基づきご自由に引用・転載いただくことができます。必ず下記のクレジットを表記の上、当コミュニティへ掲載報告をお願いします。

「育休コミュニティMIRAISによる産育休者・復職者とそのパートナー計223名の実態調査
調査結果報告書」

【調査実施主体】 育休コミュニティMIRAIS 4期広報チーム

【お問い合わせ先】 育休コミュニティMIRAIS 広報(越智)

メール: ikukyu.community@gmail.com

1.調査の概要

1-1.調査の目的

産育休者・産育休経験者・そしてそのパートナーの声を収集し、育休の実態・課題・可能性を伝えること

1-2.調査の方法

調査方法 : インターネット調査
調査期間 : 2020年8月25日~9月7日
調査対象 : 産育休中もしくは産育休を経て復職した方、そしてその配偶者
有効サンプル数 : 223名（女性209名、男性14名）

※グラフ等に表記した数値は小数点以下などを四捨五入している箇所があり、必ずしも100%にならない場合があります

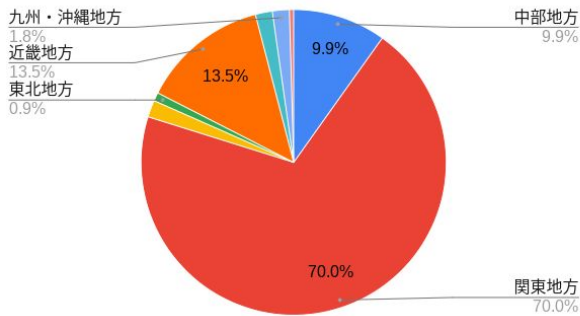
※男性の産休取得については広義の育休に含まれると解釈し、本アンケート調査では選択肢を「育休取得」としています

1-3 回答者の属性

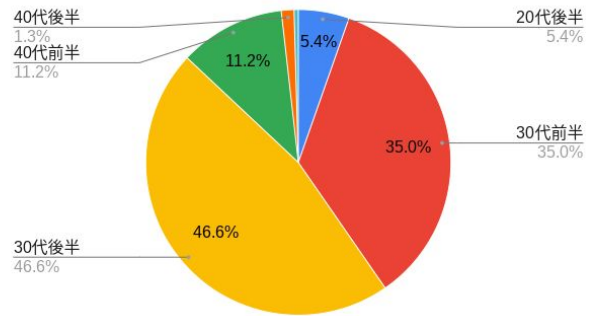
今回の回答者の属性は以下の通りであった。

居住地は7割以上が関東在住者、年齢は30代が8割以上、現在の就業状況としては産育休中が49%、就業中（復職者も含む）が48%であった。性別、子どもの人数、一番下の子どもの年齢、業種又は職種、産育休取得期間、復職後年数は以下に示したとおりである。

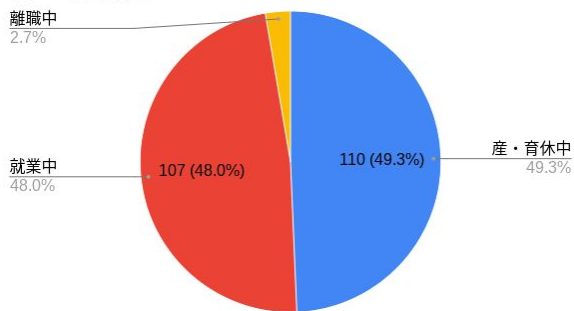
居住地



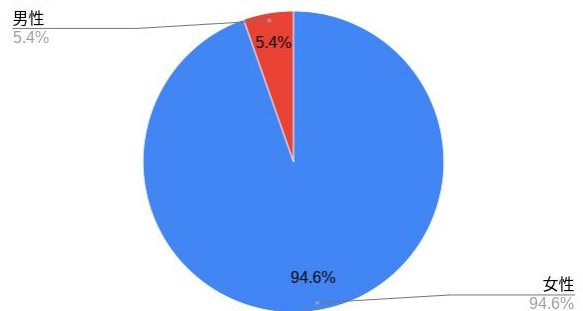
年齢



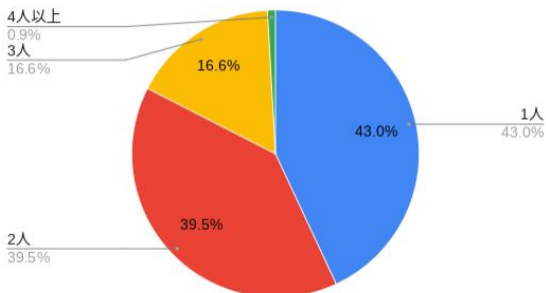
現在の就業状況



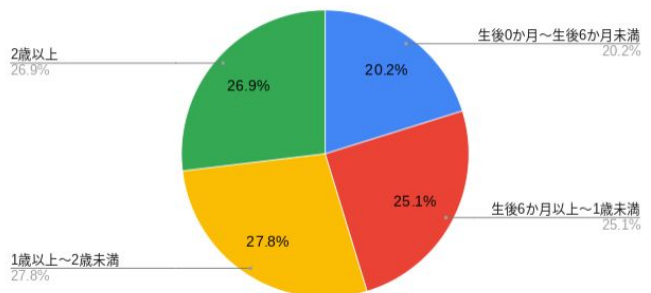
性別



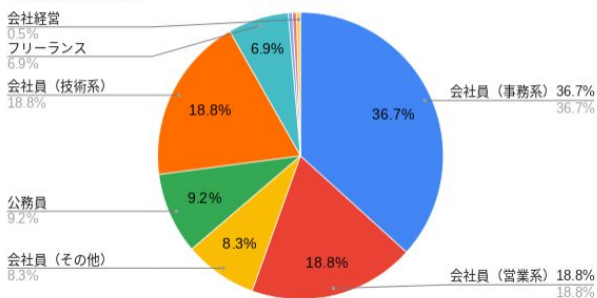
子どもの人数



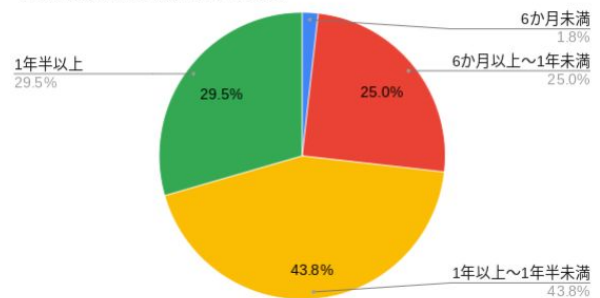
一番下の子どもの年齢

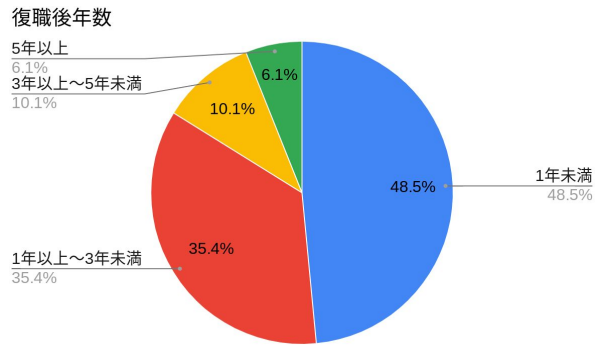


業種または職種



今回の産育休の取得期間（予定）

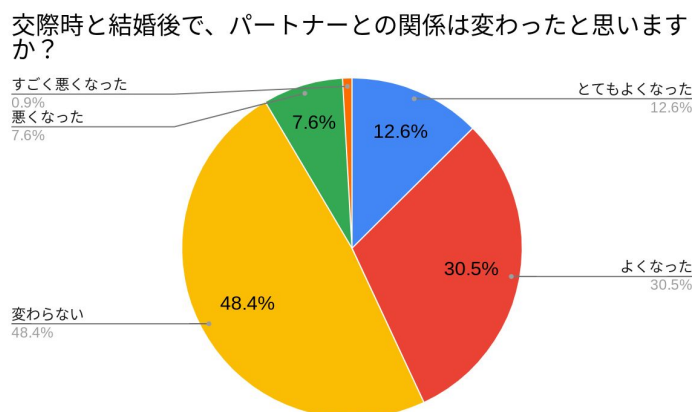




2. パートナーとの現状の関係、要望について

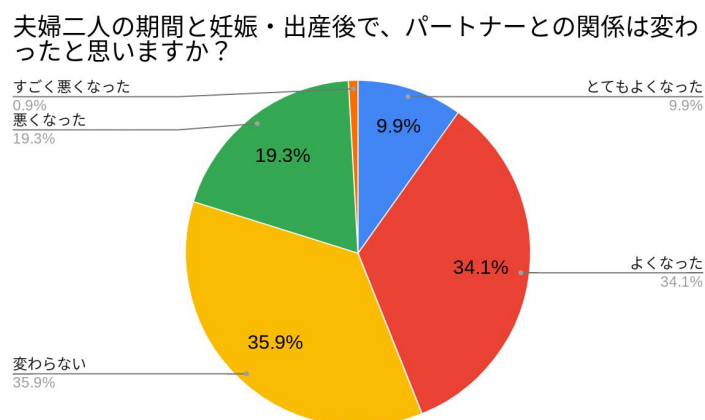
2-1 交際時と結婚後で、パートナーとの関係は変わったと思いますか？

約4割が、交際時と結婚後でパートナーとの関係は「とてもよくなった」「よくなった」と回答した。



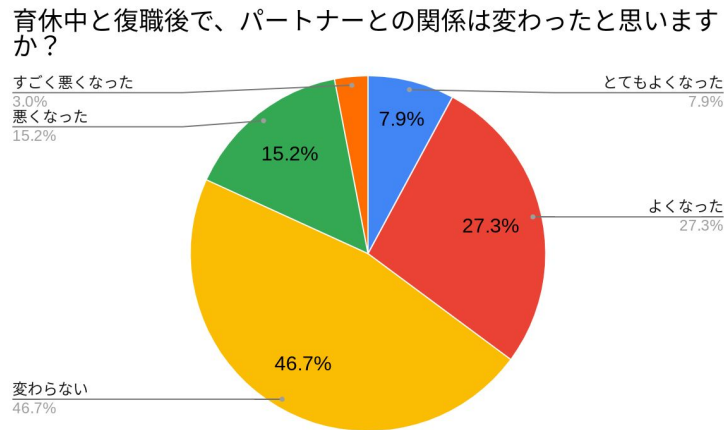
2-2 夫婦二人の期間と妊娠・出産後で、パートナーとの関係は変わったと思いますか？

約4割が、夫婦二人の期間と妊娠・出産後でパートナーとの関係は「とてもよくなった」「よくなった」と回答した。



2-3 育休中と復職後で、パートナーとの関係は変わったと思いますか？

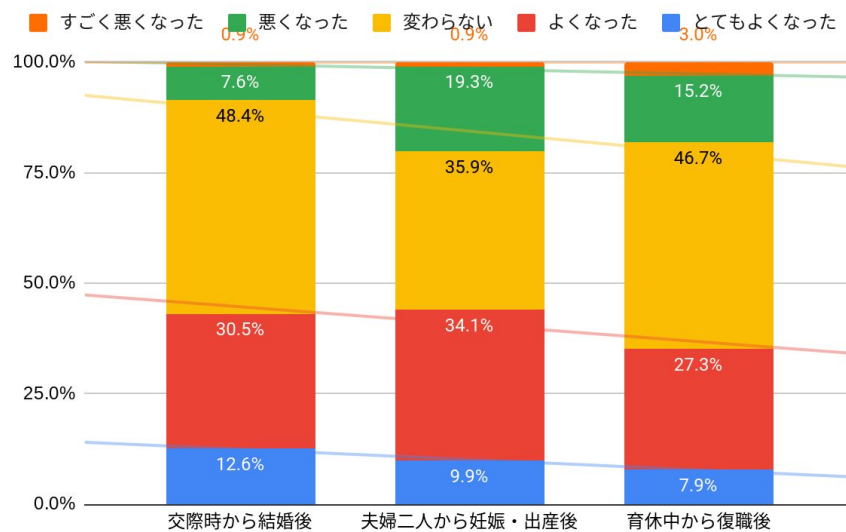
3割以上が、育休中と復職後でパートナーとの関係は「とてもよくなった」「よくなった」と回答した。



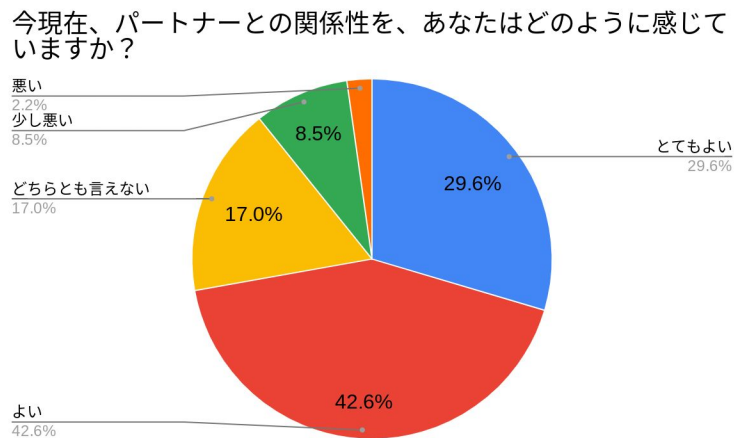
※2-1～2-3の結果を比較したグラフ

育休中から復職後に「とてもよくなった」「よくなった」と回答している人が減少していることが分かる。

ライフイベントによるパートナーシップ関係の変化



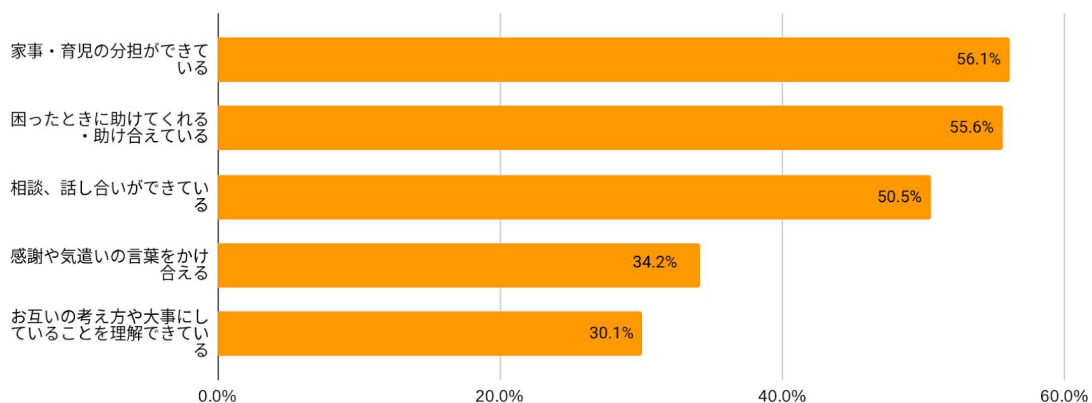
2-4 今現在、パートナーとの関係性を、あなたはどのように感じていますか？
 約7割が、今現在のパートナーとの関係を「とてもよい」「よい」と回答した。



2-5 [2-4]で、パートナーとの関係性が「とてもよい」「よい」「どちらとも言えない」と答えた人に伺います。それはなぜですか？ ※最大3つ

パートナーとの関係性が「とてもよい」「よい」「どちらとも言えない」と回答した人の半数以上が「家事・育児の分担ができて」「困ったときの助け合いができて」「相談・話し合いができて」ことを理由に挙げている。

パートナーとの関係性が「とてもよい」「よい」「どちらとも言えない」と答えた人に伺います。それはなぜですか？（複数回答可）

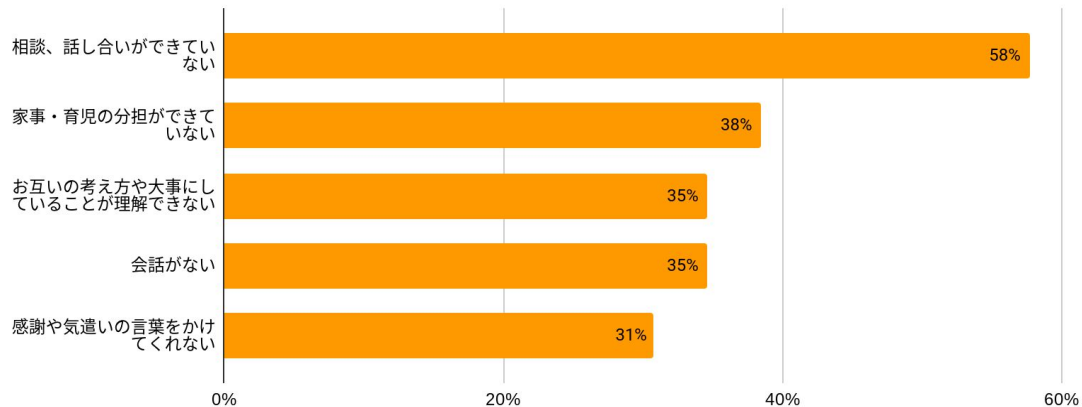


家事・育児の分担ができて	56.1%
困ったときに助けてくれる・助け合えている	55.6%
相談、話し合いができて	50.5%
感謝や気遣いの言葉をかけ合える	34.2%
お互いの考え方や大事にしていることを理解できて	30.1%

2-6 [2-4]で、パートナーとの関係性が「とても悪い」「悪い」と答えた人に伺います。
それはなぜですか？ ※最大3つ

パートナーとの関係性が「とても悪い」「悪い」と答えた人の約6割が「相談、話し合いができていない」、約3割が「会話がな」と回答した。フリー回答には、「旦那が忙しく物理的時間がないためワンオペからの疲労蓄積。自分の身体がきつい。専門に戻りたい。」との声もあった。

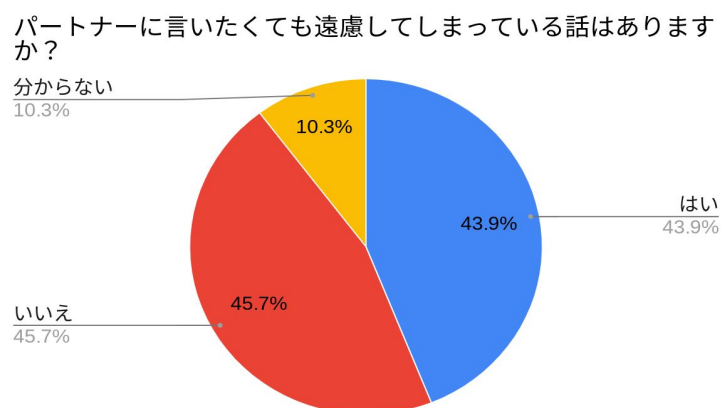
パートナーとの関係性が「とても悪い」「悪い」と答えた人に伺います。それはなぜですか？（複数回答可）



相談、話し合いができていない	56.1%
家事・育児の分担ができていない	55.6%
お互いの考え方や大事にしていることが理解できない	50.5%
会話がな	34.2%
感謝や気遣いの言葉をかけてくれない	30.1%

2-7 パートナーに言いたくても遠慮してしまっている話がありますか？

回答者の43.9%が、「パートナーに言いたくても遠慮してしまっている話がある」と回答した。



2-8 [2-7]のパートナーに言いたくても遠慮してしまっている話について、「はい」と答え方に伺います。可能な範囲で内容を教えて下さい

遠慮してしまう話題について「もっと家事育児を手伝ってほしい」「夫婦のスキンシップ」や「お互いのキャリア」、「お金に関すること」が上位にあがった。また「子どもの教育方針」「もっと自分の時間がほしい」「自分と相手の実家のこと」など短期的な要望だけでなく長期的に影響のある話題を話し合えていない現状が伺えた。

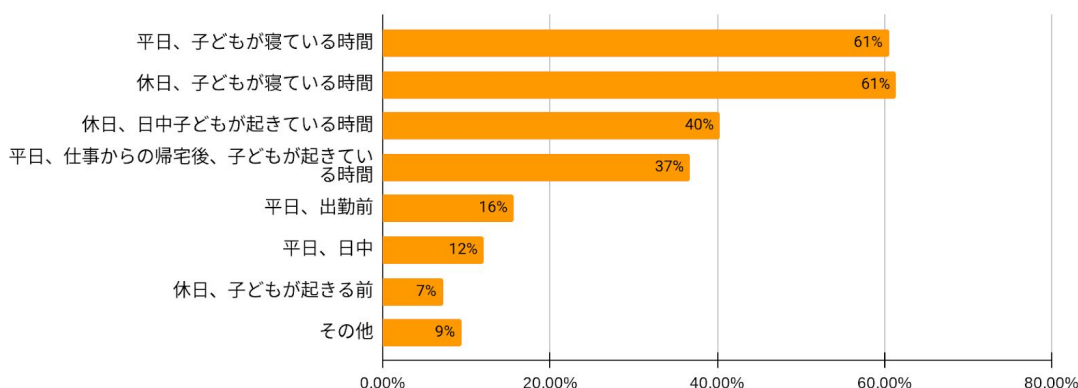
(一部抜粋)

- 家事などに関してもっとこうしてほしい、不満などがあるときにすぐに言えない
- 家事はほぼ私（妻）が担っているが仕事が忙しくなってきたので夫にももう少し担ってほしい
- 育児に対して主体的になってほしい
- 性生活の話、第二子について
- 今後のキャリアや収入、将来設計について
- お金の話など大事な相談事
- 子どもの教育方針
- 家族時間も大切だけど自分時間が欲しい
- 相手の仕事の大変さを慮りすぎて、体調の悪い時、疲れているときに、育児家事を頼めない
- 一人での外出時間が、月に一度も持てていないのをなかなか言い出せない
- 自分や相手の実家のこと

2-9 パートナーとのコミュニケーションはいつ取っていますか？ 該当するものを全て選んでください

6割以上がパートナーとのコミュニケーションを「平日や休日の子どもの寝ている時間」に取っていると回答した。

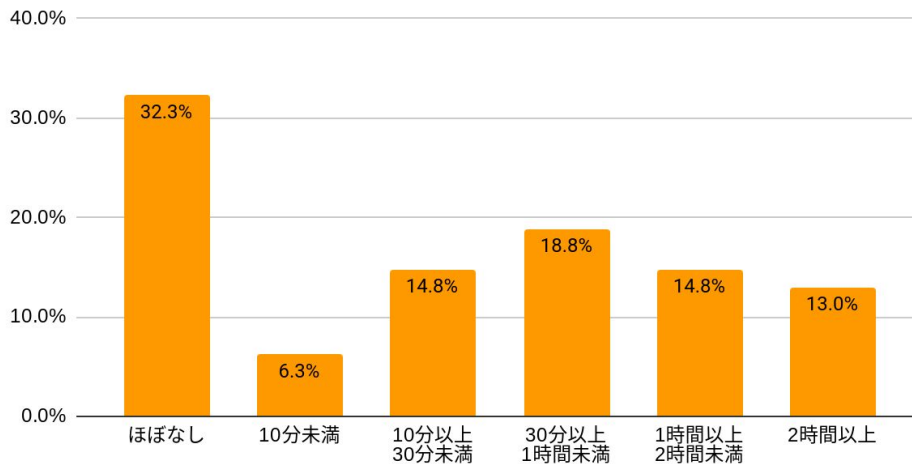
パートナーとのコミュニケーション（相談事や決め事などの話）はいつ取っていますか？
(複数回答可)



2-10 「両方、もしくはどちらかが仕事の日（平日）」にパートナーと2人きりで過ごす時間はどの程度ですか？

3割以上が、両方、もしくはどちらかが仕事の日（平日）パートナーと2人きりで過ごす時間は「ほぼなし」と回答した。次いで約2割が「30分以上1時間未満」と回答した。

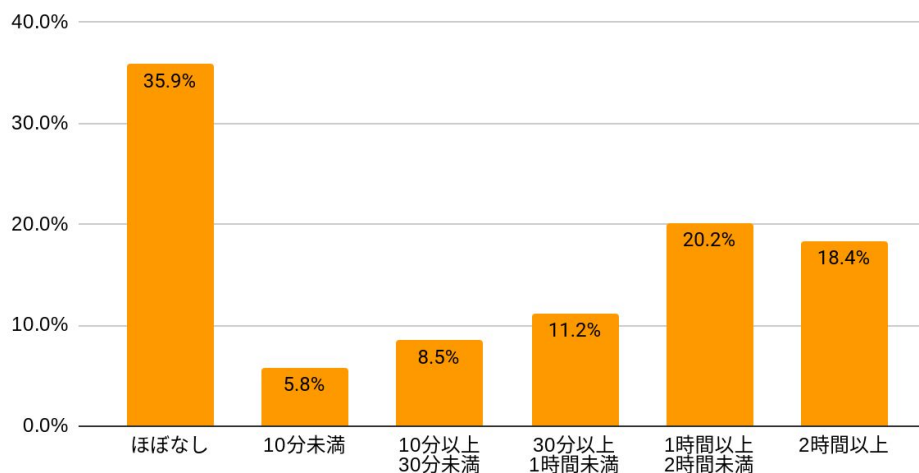
「両方、もしくはどちらかが仕事の日（平日）」にパートナーと【2人きりで過ごす時間】はどの程度ですか？



2-11 「2人とも休みの日」にパートナーと2人きりで過ごす時間はどの程度ですか？

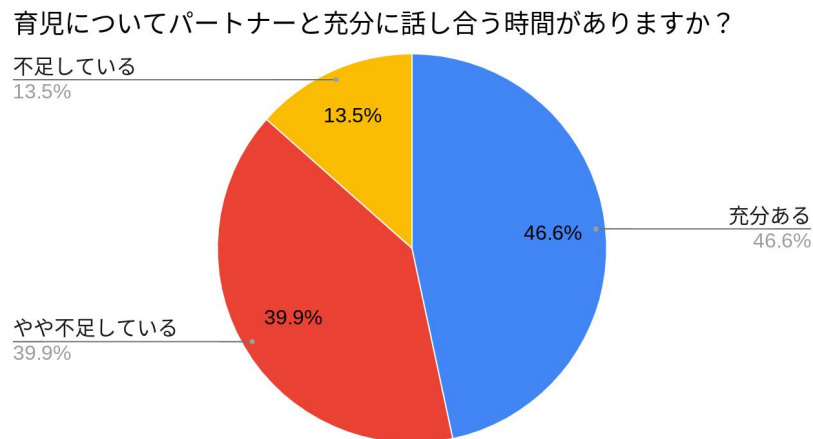
3割以上が、2人とも休みの日にパートナーと2人きりで過ごす時間は「ほぼなし」と回答した。次いで約2割が「1時間以上2時間未満」と回答した。

「2人とも休みの日（休日）」にパートナーと【2人きりで過ごす時間】はどの程度ですか？



2-12 育児についてパートナーと十分に話し合う時間がありますか？

半数以上が、育児についてパートナーと話し合う時間が「不足している」「やや不足している」と回答した。

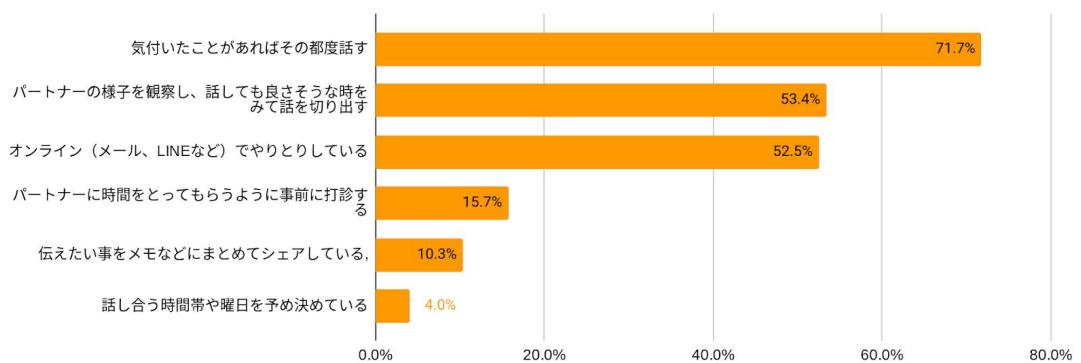


2-13 パートナーとコミュニケーションを取るために、どのように時間を取っていますか？

該当するものを全て選んでください

約7割が、パートナーとのコミュニケーションを取るための時間の取り方として、「気付いたことがあればその都度話す」と回答した。また半数以上の人々が「パートナーの様子を観察し、話しても良さそうな時をみて話を切り出す」や「オンラインでやりとりをしている」と回答した。

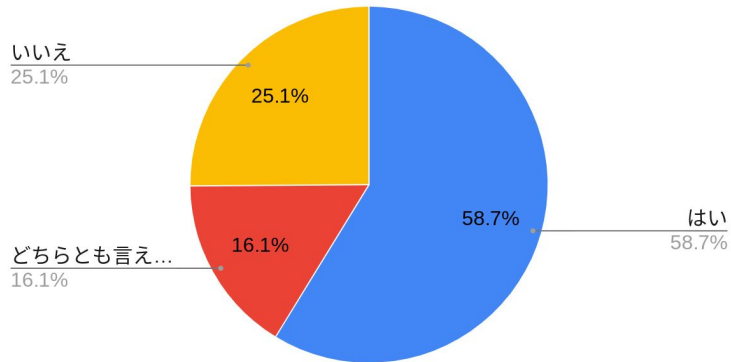
パートナーとコミュニケーションを取るために、どのように時間を取っていますか？（複数回答可）



気付いたことがあればその都度話す	71.7%
パートナーの様子を観察し、話しても良さそうな時をみて話を切り出す	53.4%
オンライン（メール、LINEなど）でやりとりしている	52.5%
パートナーに時間をとってもらうように事前に打診する	15.7%
伝えたい事をメモなどにまとめてシェアしている	10.3%

2-14 育休期間（復職した方は、育休期間に思ったことをご回答ください）にパートナーとの関わり方(コミュニケーションの取り方や役割分担)を見直したいと思いますか？
 約6割が「育休期間にパートナーとの関わり方を見直したい」と回答した。

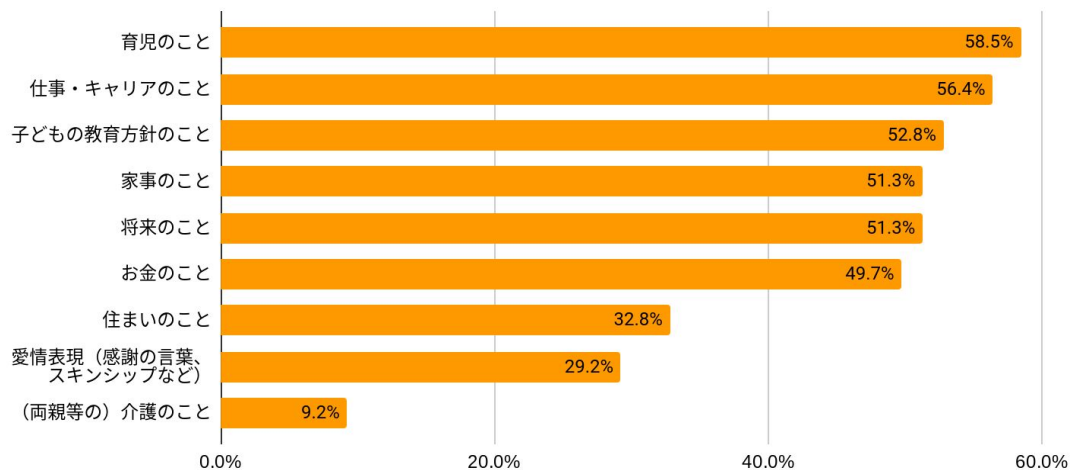
育休期間にパートナーとの関わり方(コミュニケーションの取り方や役割分担)を見直したいと思いますか？



2-15 育休期間にパートナーと見直しを考えたい項目は何ですか？該当するものを全て選んでください

約6割が「育児のこと」「仕事・キャリアのこと」を育休期間にパートナーと見直したいと回答した。次いで半数以上が「子どもの教育方針」「家事のこと」「将来のこと」と回答した。

育休中にパートナーと見直しを考えたい項目は何ですか？（複数回答可）

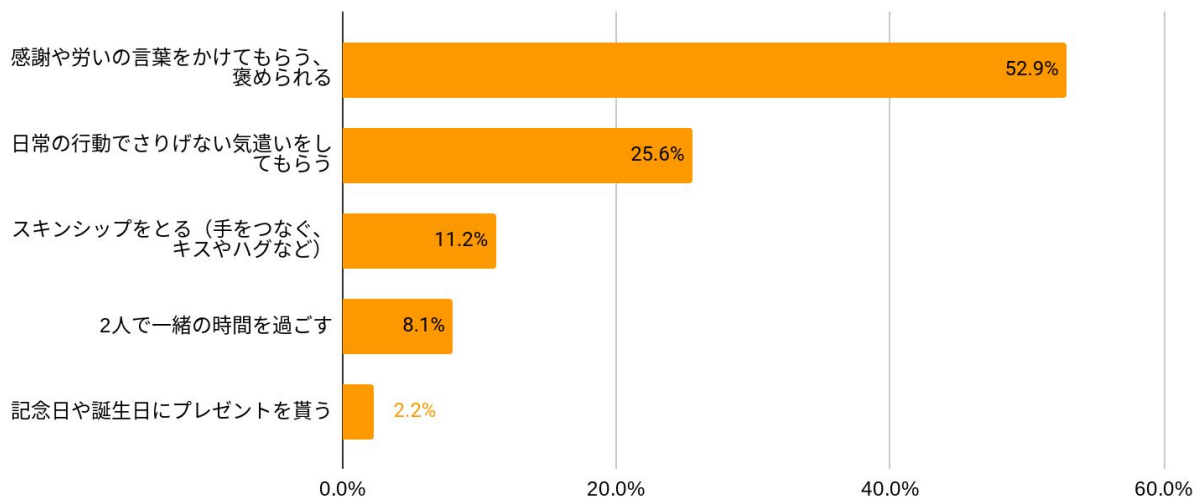


3.パートナーとのコミュニケーションの工夫について

3-1 あなたが嬉しいと思う愛情表現の方法は何ですか？最も嬉しいと思うものを1つ選んでください

半数以上が、嬉しいと思う愛情表現の方法は「感謝や労いの言葉をかけてもらう、褒められる」と回答した。次いで約2割が「日常の行動でさりげない気遣いをしてもらう」と回答した。

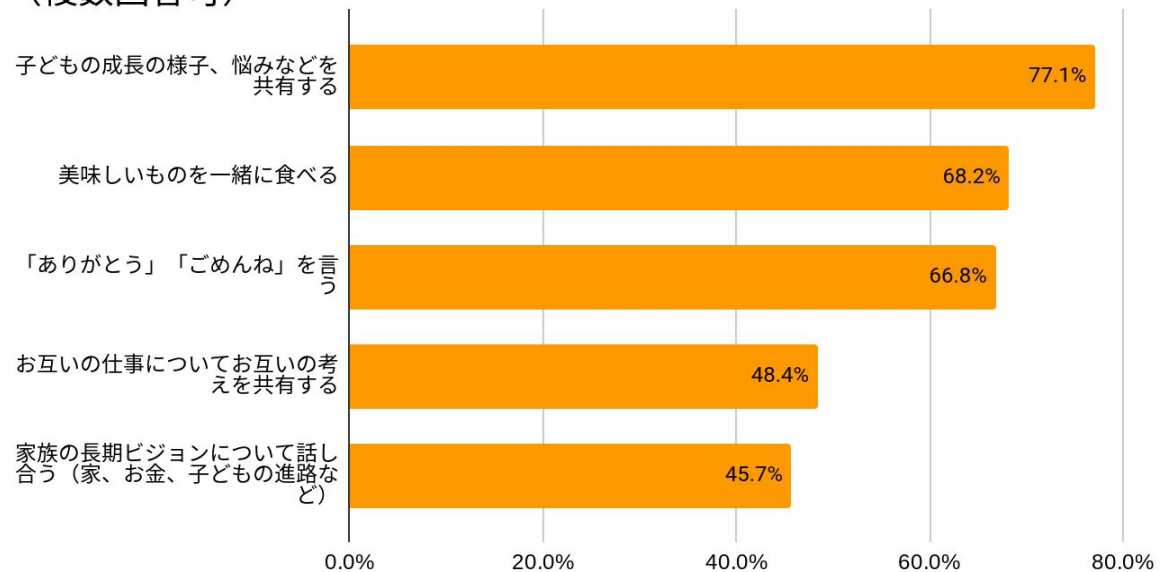
あなたが嬉しいと思う愛情表現の方法は何ですか。



3-2 コミュニケーションの取り方でどんな工夫をしていますか？該当するものを全て選んでください

約8割がコミュニケーションの取り方の工夫として、「子どもの成長の様子・悩みなどを共有する」と回答した。続いて「美味しいものを一緒に食べる」「ありがとう、ごめんねを言う」が挙げられた。

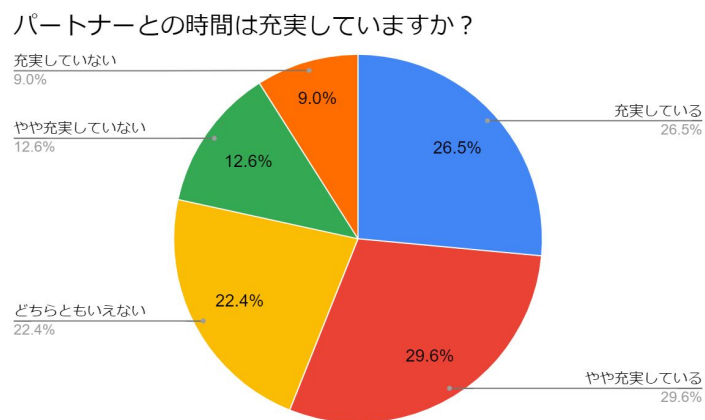
コミュニケーションの取り方でどんな工夫をしていますか？
(複数回答可)



子どもの成長の様子、悩みなどを共有する	77.1%
美味しいものを一緒に食べる	68.2%
「ありがとう」「ごめんね」を言う	66.8%
お互いの仕事についてお互いの考えを共有する	48.4%
家族の長期ビジョンについて話し合う（家、お金、子どもの進路など）	45.7%

3-3 パートナーとの時間は充実していますか？

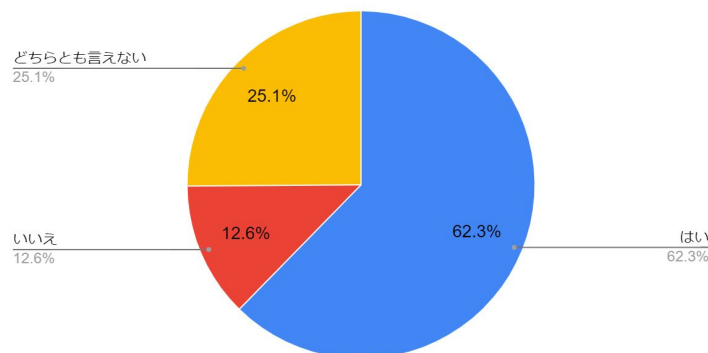
約6割が、パートナーとの時間が「充実している」「やや充実している」と回答した。



3-4 パートナーとのコミュニケーションの時間をもっと増やしたいと思いますか？

6割以上が、パートナーとのコミュニケーションの時間をもっと増やしたいと回答した。

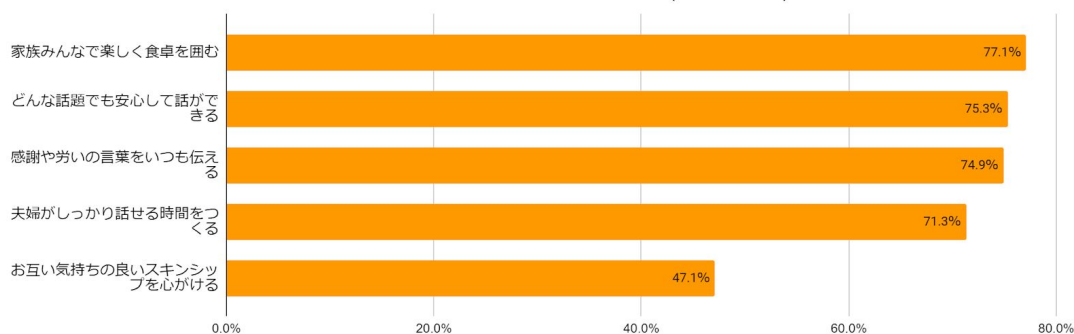
パートナーとのコミュニケーションの時間をもっと増やしたい
と思いますか？



3-5 あなたが理想とするパートナーとのコミュニケーションの取り方について、該当するものを全て選んでください

理想とするパートナーとのコミュニケーションについて、7割以上の方が「家族みんなで楽しく食卓を囲む」「どんな話題でも安心して話ができる」「感謝や労いの言葉をいつも伝える」と回答した。withコロナによる在宅勤務等により、期せずして理想のコミュニケーションを実現できた家族が多数いることが推測される。

あなたが理想とするパートナーとのコミュニケーションの取り方は？(複数選択可)

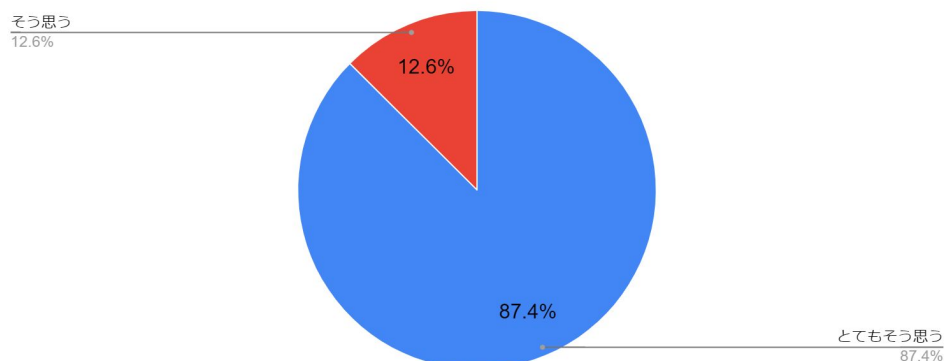


家族みんなで楽しく食卓を囲む	77.1%
どんな話題でも安心して話ができる	75.3%
感謝や労いの言葉をいつも伝える	74.9%
夫婦がしっかり話せる時間をつくる	71.3%
お互い気持ちの良いスキンシップを心がける	47.1%

3-6 良好なパートナーシップを維持することは家族の人生の満足度にプラスの影響を与えますか？

ほぼ全ての方が「パートナーシップを維持することは家族の人生の満足度にプラスの影響を与える」と回答した。

良好なパートナーシップを維持することは家族の人生の満足度にプラスの影響を与えますか？

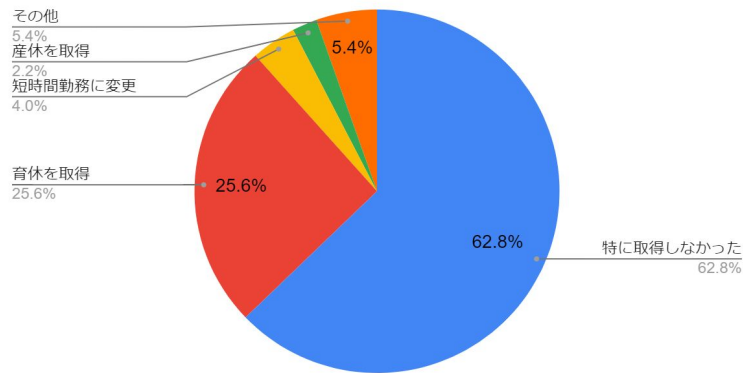


4.男性側の育休や家事協力について

4-1 あなたのパートナー(男性の場合は本人)は産育休を取得しましたか？

約3割が、パートナー(男性の場合は本人)が産休または育休を取得した。「その他」の回答の中には、有給休暇を利用したり、リモートワークに切り替えたという声もあった。

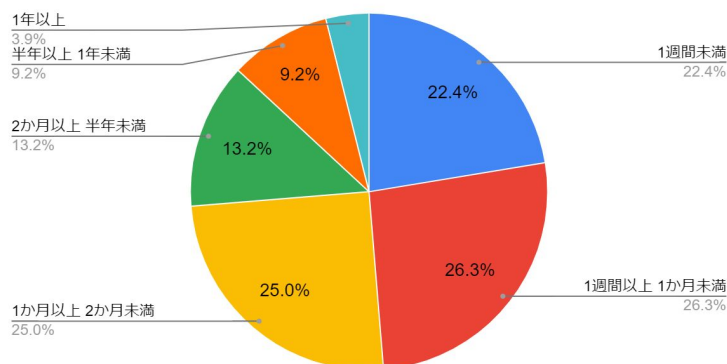
あなたのパートナー（男性の場合は本人）は産育休を取得しましたか？



4-2 パートナー（男性の場合は本人）が産育休を取得した方に伺います。取得期間を教えてください

パートナー(男性の場合は本人)が産育休を取得した人について、7割以上が産育休を取得した期間は「2ヶ月未満」と回答した。そのうち、「1週間以上1か月未満」と回答した人が26.3%と一番多かった。

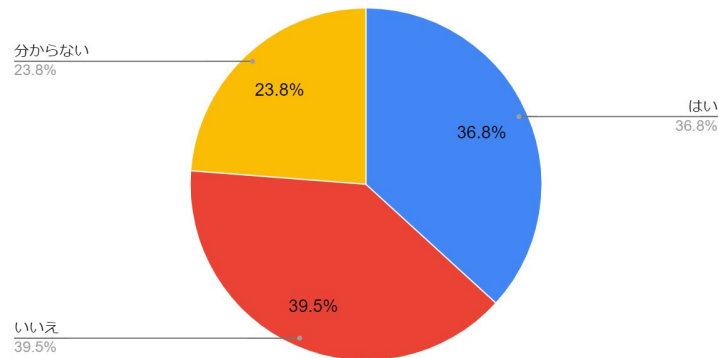
パートナー（男性の場合は本人）が産育休を取得した方に伺います。取得期間を教えてください。



4-3 あなたのパートナー(男性の場合は本人)の会社は男性の育休取得は推奨されていますか？

約4割は、会社で男性の育休取得が推奨されている。

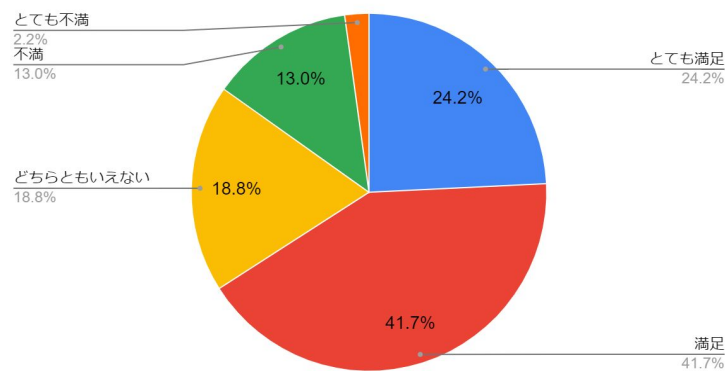
あなたのパートナー(男性の場合は本人)の会社は男性の育休取得は推奨されていますか？



4-4 あなたのパートナー(男性の場合は本人)の家事・育児分担に満足していますか？

6割以上がパートナー（男性の場合は本人）の家事・育児分担について、「とても満足」「満足」と回答した。

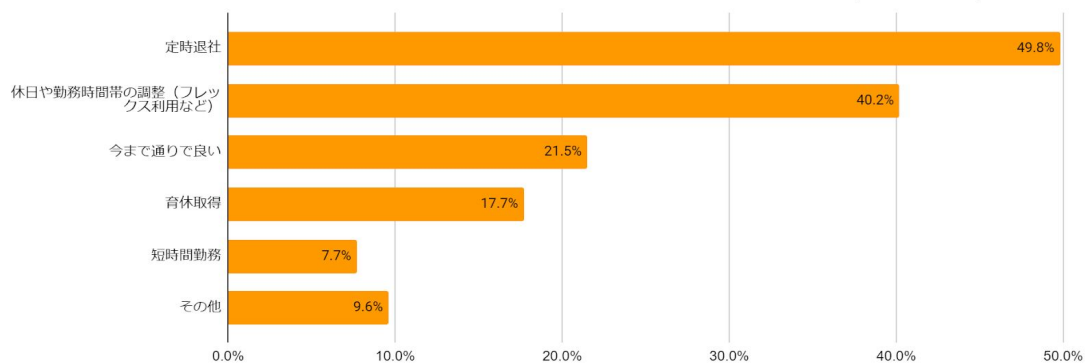
あなたのパートナー(男性の場合は本人)の家事・育児分担に満足していますか？



4-5-1 あなたが女性の場合、ご回答ください。勤務形態について、パートナーに何を希望しますか？該当するものを全て選んでください

妻が夫に希望する勤務形態は「定時退社（49.8 %）」や「フレックス勤務（40.2 %）」が「育休取得（17.7 %）」を大きく上回った。男性の育休取得の義務化がクローズアップされているが、妻が求めているのは一時的・イベント的な育休の取得ではなく、「継続的」な育児への参画である、という要望が読み取れる。またその他の回答には、「仕事に支障が出ない程度に残業を減らして欲しい」「残業や定時退社日を事前に伝える（ようにしてほしい）」「長期にわたる出張を短縮してほしい」「子どもが小さい時期は、できるだけ夜早くに家にいてほしい」「テレワークを活用してほしい」などが挙げられた。

女性の方にお伺いします。勤務形態について、パートナーに何を希望しますか？(複数選択可)

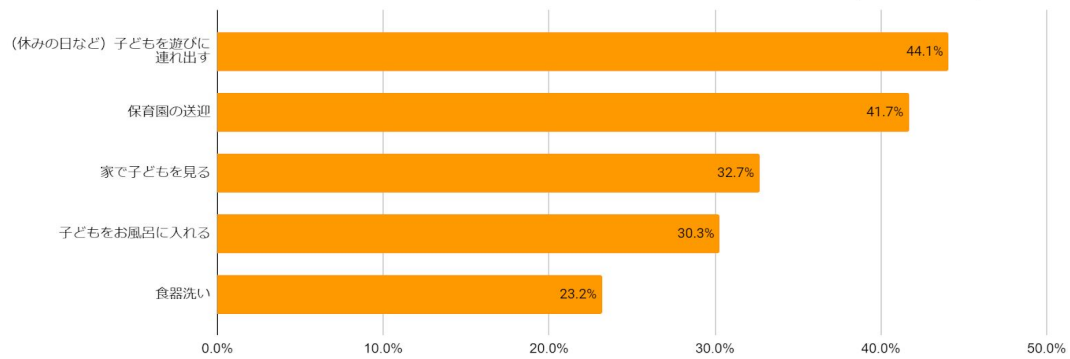


定時退社	49.8%
休日や勤務時間帯の調整 (フレックス利用など)	40.2%
今まで通りが良い	21.5%
育休取得	17.7%
短時間勤務	7.7%
その他	10.0%

4-5-2 あなたが女性の場合、ご回答ください。家事・育児分担について、パートナーに何を希望しますか？ ※最大3つ

妻が夫に求める家事・育児分担の上位は、「(休みの日など)子どもを遊びに連れ出す」(44.1%)、「保育園の送迎」(41.7%)、「家で子どもを見る」(32.7%)だった。妻が夫に望むのは、家事よりも育児であることが分かる。

女性の方に伺います。家事・育児分担について、パートナーに何を希望しますか？(複数選択可)

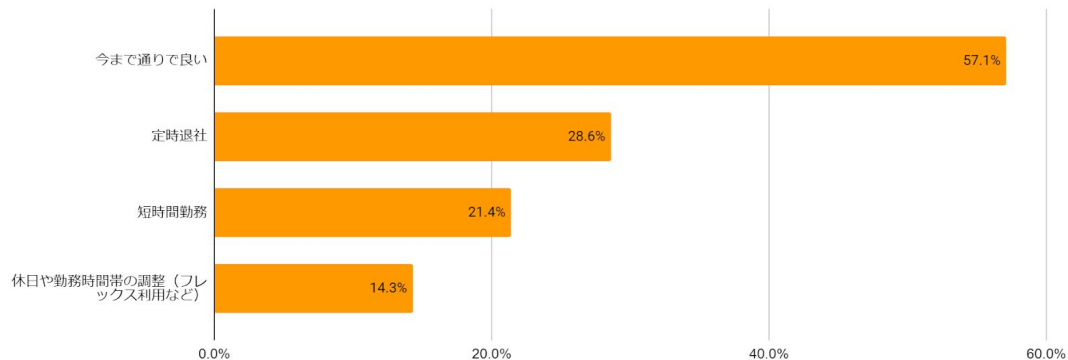


(休みの日など)子どもを遊びに連れ出す	44.1%
保育園の送迎	41.7%
家で子どもを見る	32.7%
子どもをお風呂に入れる	30.3%
食器洗い	23.2%

4-6-1あなたが男性の場合、ご回答ください。勤務形態について、パートナーに何を希望しますか？該当するものを全て選んでください

夫が妻に求める勤務形態について、約6割が「今まで通りでよい」と回答した。

男性の方にお伺いします。勤務形態について、パートナーに何を希望しますか？(複数選択可)

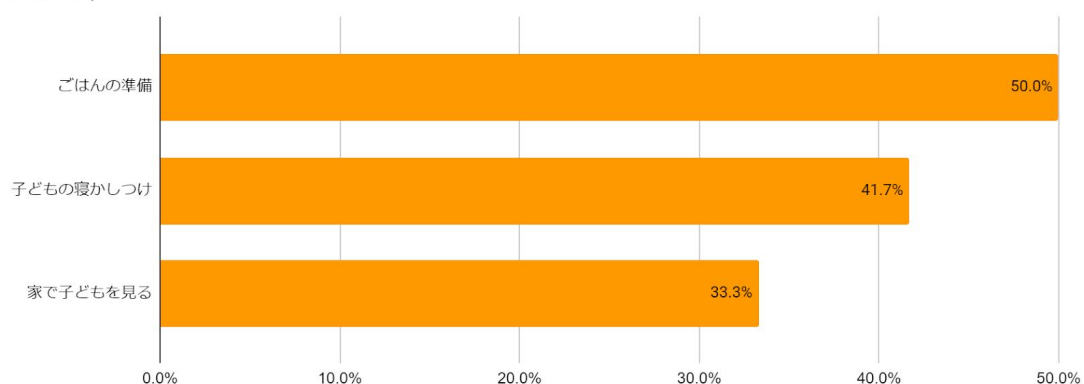


今まで通りで良い	57.1%
定時退社	28.6%
短時間勤務	21.4%
休日や勤務時間帯の調整 (フレックス利用など)	14.3%

4-6-2あなたが男性の場合、ご回答ください。家事・育児分担について、パートナーに何を希望しますか？ ※最大3つ

半数が、夫が妻に求める家事・育児分担について「ごはんの準備」と回答した。

男性の方にお伺いします。家事・育児分担について、パートナーに何を希望しますか？(複数選択可)

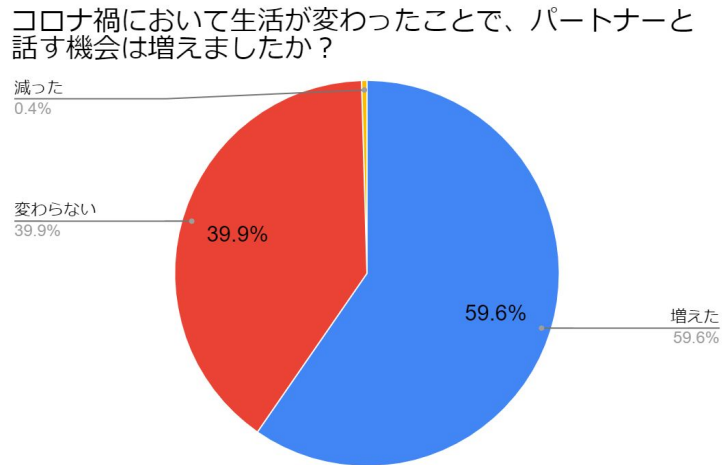


ごはんの準備	50.0%
子どもの寝かしつけ	41.7%
家で子どもを見る	33.3%

5.新型コロナウイルスによる生活様式の変化について

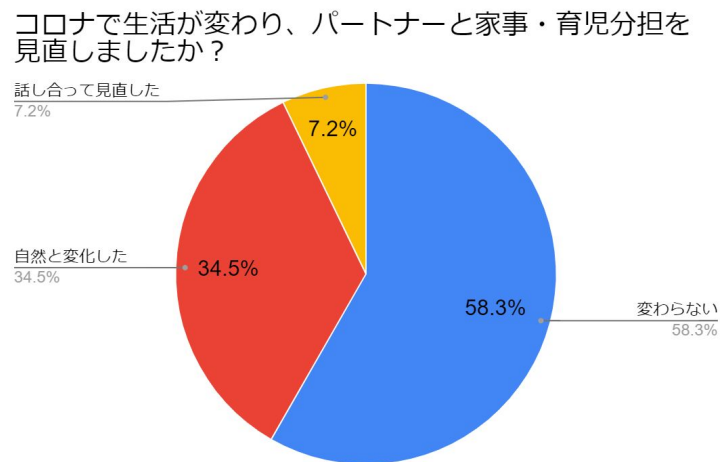
5-1 コロナ禍において生活が変わったことで、パートナーと話す機会は増えましたか？

6割が「コロナ禍において生活が変わったことでパートナーと話す機会が増えた」と回答している。



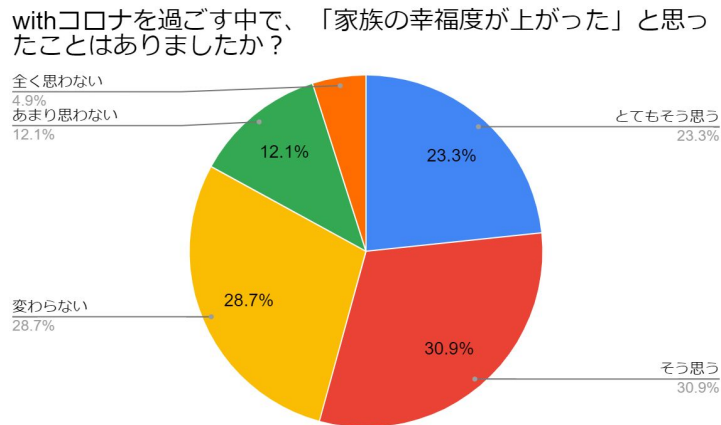
5-2 コロナで生活が変わり、パートナーと家事・育児分担を見直しましたか？

コロナ禍で在宅勤務が奨励されていたにもかかわらず、58.3%は夫婦の家事分担に変化がないという結果となった。



5-3 withコロナを過ごす中で、「家族の幸福度が上がった」と思ったことはありますか？

回答の54.2%の人が、コロナをきっかけに「家族の幸福度が上がった」と回答した。半数以上の家族がコロナをきっかけに家族の関係性が良くなったと推察する。



5-4 [5-3]で、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した方に伺います。具体的に幸福度が上がったと感じた出来事は何ですか？

上位は「夫との関係改善」（43%）、「家族と過ごす時間」（41%）、「子どもとの時間」（17%）となった。またフリー回答には「家族で一緒に食卓を囲めた」という声が多く上がり、withコロナをきっかけに「家族そろって食事をとることの大切さ」を実感し家族と過ごす時間の大切さを再確認した回答が多く集まった。

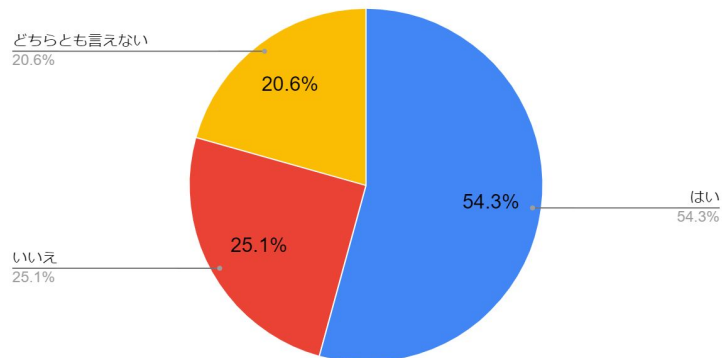
（一部抜粋）

- 家族みんなで6時に夕飯を食べ、お風呂に入り、全員で寝室に行くこと。
- 家族揃って夕飯を食べられること、寝る前に家族でわいわい遊ぶ時間ができたこと。コロナ前にはこんな時間を過ごす日があるなんて信じられなかった！
- 子どもの成長に対する喜びを分かち合えること。
- 在宅が増えたことで子供も私もコミュニケーションが増えた。家事の分担ができた。
- コロナのお陰で、出来るだけ様々な状況下でも家族が幸せに暮らせるために、今なにができるかを真剣に話し合った。家族会議を始めて、子供も意見を発言する機会をつくりチーム意識を高めた。
- 子供がお父さんのことを大好きになり、お父さんと遊びたいというようになった。
- いつも残業で夜中に帰ってきていた夫が在宅勤務で家にいることによって、子供の面倒をみてもらう時間が増え、母親の負担が減った。

5-5 withコロナを過ごす中で、パートナーと新たに話し合いをする必要性を感じたことはありましたか？

半数以上が、「withコロナを過ごす中で、パートナーと新たに話し合いをする必要性を感じた」と回答した。

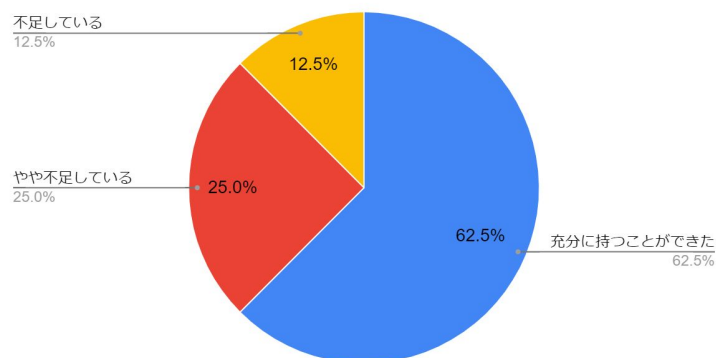
withコロナを過ごす中で、パートナーと新たに話し合いをする必要性を感じたことはありましたか？



5-6 [5-5]で「はい」と答えた人に伺います。お互いに納得のいく話し合いを、パートナーともつことができましたか？

6割以上が、「お互いに納得のいく話し合いを、パートナーともつことができた」と回答した。

お互いに納得のいく話し合いを、パートナーともつことができましたか？



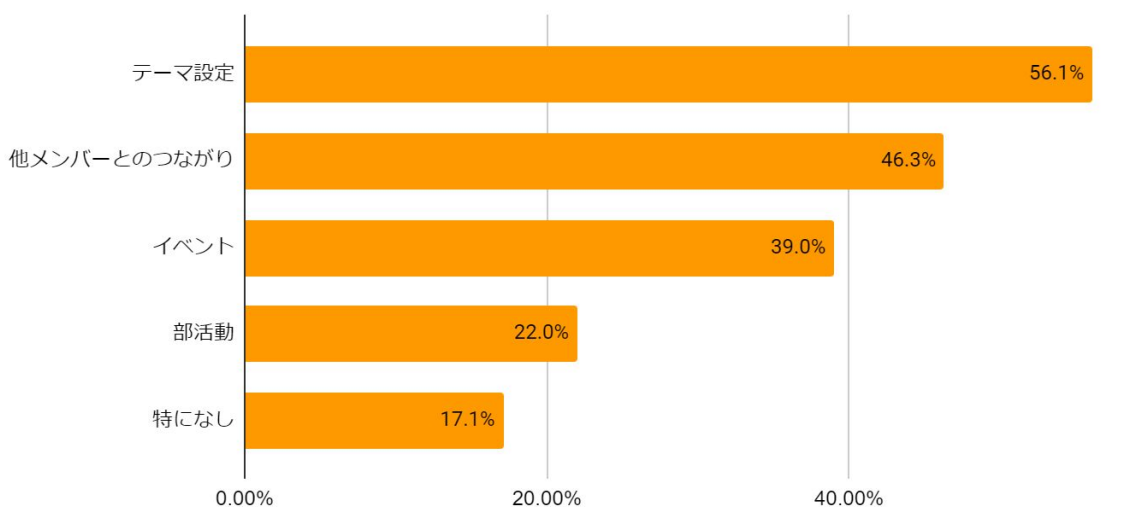
<以下、MIRAIS4期メンバーのみ回答（回答数：41）>

6.パートナーシップについて

6-1 MIRAIS活動の中でパートナーシップ改善につながると思う内容があれば、該当するものを全て選んでください

MIRAIS活動の中でパートナーシップ改善につながると思う内容の上位3つは、「テーマ設定」「他メンバーとのつながり」「イベント」だった。

【6-1】MIRAIS活動の中でパートナーシップ改善につながると思う内容があれば、該当するものを全て選んでください（複数選択可）



テーマ設定	56.1%
他メンバーとのつながり	46.3%
イベント	39.0%
部活動	22.0%
特になし	17.1%

6-2 [6-1]について詳細を教えてください

（一部抜粋）

- 自分を深く知ることで、自身の良い点、不足している点に気づき、パートナーシップにも良い影響があった。
- パートナーシップに関する様々なイベントがあり、気づきを発見できる。また他のメンバーとのパートナーシップに関する工夫を聞くと、良いところは真似したいと思う。
- 夫婦で将来のことを話し合う方法、リアルな悩みを解決するヒントを得られた。
- 多様な家族のあり方を知り、自分たち家族の将来などについて話すきっかけになった。
- 仕事もプライベートも充実させるようなテーマを設定している人が多いので、自分だけの振り返りだと仕事に傾倒してしまうが、子どもやパートナーに意識を向けた人の振り返りやコメントにハッとさせられた。
- 自分の強みを活かしつつストレスを溜め過ぎないコミュニケーション方法が少しずつ分かってきたこと。
- 他のメンバーと話をすることで、自分の家庭の状況を客観的に見れたり、役立つ方法を教えてもらえたりした。

6-3 パートナーシップについて悩んでいることはありますか？

(一部抜粋)

- 話す時間がなかなかとれない。2人の時間が持てない。
- 家事をもっとやってほしい。
- 相手がすぐに感情的になるため、話し合いがうまくできない。
- 求めるセックス頻度が異なること。話し合いである程度しか差が埋まらない。
- 夫が忙しく、離乳食や子供グッズの購入を自分だけでしなくてはならない。
- どうしても価値観の違う他人同士の夫婦なので、話し合いや妥協が必要だが、妥協点を見つけられていないこと。
- 育児に関して一通りの流れを夫に習得してほしいし、悩みは共有したいと思っているが、それがうまく伝わらず断られてしまう。建設的な話し合いができない。

6-4 パートナーシップについてうまくいっていると感じる方は、アドバイスなどあればぜひお聞かせください

(一部抜粋)

- 思っていることを率直に伝える。対等な立場として話す（自分を卑下しない、相手を自分の価値観で決めつけない）
- 主体的にやってくれた育児や家事は多少出来が悪くても目をつぶってひたすら褒める。
- 自分と相手は違う人間なんだから、違う価値観や考え方をしている当然と考えること。その違いを自分が認めることで、相手も自分の考えを認めてくれるようになる。お互い許し合うこと。
- 子供の様子や保育園の情報などを共有して、それについてどう感じるかをお互い話す時間を持つとよい。
- 小さな事でもスキンシップを図っている。出勤の日には行ってらっしゃいのキスをルーチンにしている。自宅ですれ違うときに妻から夫に抱きつくようにしている。
- 定期的に家族会議を開いて、子どものことだけでなくお互いのwillについて話をしているので、家事分担含めて納得感をもって家族運営を行うことができている。
- 喧嘩の後は、納得してなくてもとりあえずハグ。頭が柔らかくなり、相手の考えを受け入れやすくなる。
- 自分がどうしていきたいかはっきり話す。夫の希望も聞く。否定せず、すり合わせる。
- お互いのやりたいことを尊重すること。
- 言わなくても分かってくれるという幻想を捨てて、少しだけ我慢して夫と話す。
- やはりお互いへの思いやりが必要。相手を思いやり、そうすることで相手からも思いやられれば、少しずつでもベターに近づいていける。
- 相手がいること、してくれることを当たり前と思わず、小さなことでも日々、感謝を伝える。
- 夫と子どもたちだけの時間を作り、～をするならパパと、というような特別タイムを設ける。
- 夫が不在の時でも、お父さんが頑張っているからこそ、こんなふうには美味しいものを食べたり、楽しく過ごせるんだよ、と子供に伝えることで、夫が多忙な時でも家族を想っていることを代わりに伝えるようにしている。
- 晩酌など夫婦2人だけの時間を持つ。
- 家事や育児は量を単純に半々にすることを目指すのではなく、お互いの得意不得意や好き嫌いも踏まえて、心地よいバランスを探る。
- 家訓を決めたことが、夫婦の拠り所になっている。